



読者モデル
が体験

第1弾 東京五輪の新種目なるか!?

パースでインドア ロッククライミング

Indoor Rock Climbing in Perth

2020年夏季オリンピックの開催が東京に決定してから早2年、2015年9月には公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が、追加種目候補となる5つの競技を発表しました。それら競技の一つである「スポーツクライミング」は現在、世界的にも人気が高まっており、もちろんパースでも楽しむことができます。そこで、今号特集では、本誌読者モデルの3名に実際、スポーツクライミングが体験できる『インドアロッククライミング』に挑戦してもらいました。

インドアロッククライミングとは？



登山の要素の一つとしてロッククライミング（岩壁をよじ登る）がありますが、そのロッククライミングには「フリークライミング」と「エイドクライミング」があります。安全確保のために道具を使用しますが、それらの道具に頼らずに自分自身のスキルと体力のみを使って登るフリークライミングは、インドア（屋内）の人工の壁を登る「インドアロッククライミング」として楽しむことができます。

登ったルートや課題を登るなどといったスポーツ的な一面もあるため、スポーツクライミングとも呼ばれます。登り方のスタイルには「トップロープクライミング」「ボルダリング」「リードクライミング」の3種類があります。

2020年に開催される東京オリンピックでの新種目候補（競技クライミング）の一つであり、2016年6月、国際オリンピック委員会へ「ボルダリング・リード・スピード」の3種目複合競技として提案される予定です。

今回紹介するこのインドアロッククライミングは、決めら

今号特集でクライミングに挑戦した読者モデル3名

たかはし みゆき
高橋 美由希
さん

P10～

いいじま こうた
飯島 康太
さん

P15～

いわかた まお
岩方 真生
さん

P17～

コラム ① クライミングを始める前に押さえておきたい専門用語

クライマー (climber)
壁を登っている人 (climb = 登る)。

ホールド (hold)
登る際に手足をかける人工岩。

カラビナ (carabiner)
バネ式の開閉部が付いた金属製の輪 (P9 参照)。

ビレー (belay)
墜落を防ぐためロープなどを固定して安全を確保すること (P8 参照)。

ビレーヤー (belayer)
壁を登る人の安全を確保する人 (P8 参照)。